

【米ドル】 通商リスク緩和期待を維持だと、戻り高値を更新

	直近1週間のレンジ	今後1週間の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
ドル/円	142.33-146.18円	142.50-147.50円	135.00-155.00円

米ドル/円相場は、1ドル=142.50~146.00円水準で売買が交錯した。トランプ米大統領が海外製作の映画、輸入医薬品に対して関税を課す方針を示すと、リスクオン環境が一服したことで142円台中盤まで軟化した。しかし、その後はリスクオン環境の再開と連動して、ドル/円相場も押し目買い優勢の展開になった。5月8日には米英の貿易協定が締結された。詳細はこれから詰めるとされているが、4月2日に相互関税が発動してから初めての通商合意になる。また、10~11日に米中政府高官が協議を行う予定が伝わったことも、ドル/円相場をした支えした。一方、6~7日には米連邦公開市場委員会 (FOMC) が開催されたが、政策調整は行われなかった。マーケットでは早期利下げ観測が強くなっているが、パウエル米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長が先行き不透明感から政策調整に慎重姿勢を示したこともポジティブ。

リスク投資の地合に強く左右される展開になる。通商リスクの軽減評価が株価を押し上げているが、その流れが維持されるのであれば、ドル/円相場も堅調地合が続きやすい。10~11日の米中通商協議の結果については12日に会見が行われる予定だが、トランプ大統領は建設的な協議が行われ、貿易協定の枠組み設置で合意したと報告している。トランプ大統領の発言によって地合が一瞬にして急変するリスクも抱えているが、このまま通商問題に対する警戒感の後退でリスクオン環境が維持されると、145円の節目を抵抗線から支持線に転換し、147~148円水準までの上値切り上げを打診しよう。13日の4月米消費者物価指数などがイベントリスクになるが、米金融政策要因では積極的な売買は求められない見通し。

サイコロジカルは、前週の6勝6敗から7勝5敗に。14日RSIは53.80。

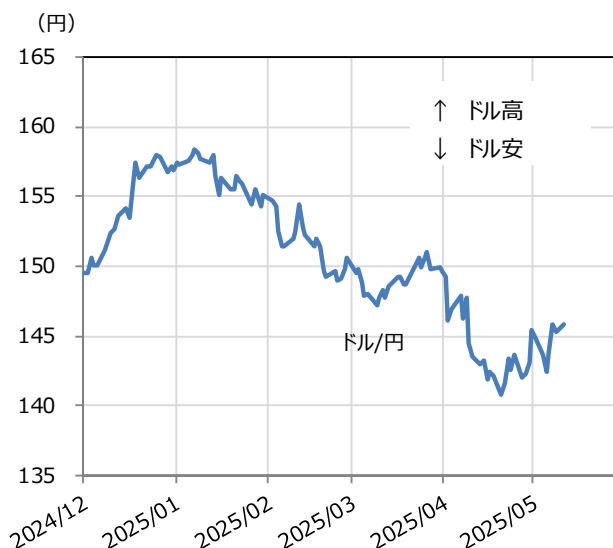
注目イベント

【 米国 】

- 05/13 (火) 4月消費者物価指数
- 05/15 (木) 4月卸売物価指数
- 05/15 (木) 4月小売売上高
- 05/15 (木) 5月ニューヨーク連銀製造業指数
- 05/15 (木) 新規失業保険申請件数
- 05/15 (木) 4月鉱工業生産
- 05/16 (金) 4月住宅着工件数
- 05/16 (金) 5月ミシガン大消費者マインド指数

【 日本 】

- 05/12 (月) 3月经常収支
- 05/12 (月) 4月景気ウォッチャー調査
- 05/14 (水) 4月国内企業物価指数
- 05/16 (金) 1~3月期GDP
- 05/16 (金) 3月鉱工業生産



政策金利一覧

(%)	日本	米国	ユーロ圏	豪州
2023/01	-0.10	4.50	3.00	3.10
2023/02	-0.10	4.75	3.00	3.35
2023/03	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/04	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/05	-0.10	5.25	3.75	3.85
2023/06	-0.10	5.25	4.00	4.10
2023/07	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/08	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/09	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/10	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/11	-0.10	5.50	4.50	4.35
2023/12	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/01	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/02	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/03	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/04	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/05	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/06	0.10	5.50	4.25	4.35
2024/07	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/08	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/09	0.25	5.00	3.65	4.35
2024/10	0.25	5.00	3.40	4.35
2024/11	0.25	4.75	3.40	4.35
2024/12	0.25	4.50	3.15	4.35
2025/01	0.50	4.50	2.90	4.35
2025/02	0.50	4.50	2.90	4.10
2025/03	0.50	4.50	2.65	4.10
2025/04	0.50	4.50	2.40	4.10
2025/05	0.50	4.50		
2025/06				
2025/07				
2025/08				
2025/09				
2025/10				
2025/11				
2025/12				

本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保障するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

Copyright© Marketedge Co., Ltd.

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
- 【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
- 【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>
- 【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役/商品アナリスト 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。金、プラチナ、原油、天然ガス、天然ゴム、コーン、小麦、大豆、コーヒー、ココア、砂糖、綿花などのコモディティ市場を中心に、金融市場もカバー。主に法人向けのコモディティレポート配信、寄稿、講演等を行う。

E-mail: kosuge.tsutomu@outlook.com

Twitter @[kosuge_tsutomu](https://twitter.com/kosuge_tsutomu)